

「保険者支援のためのガイド（案）」について①

ガイド作成の検討経緯

- 第22回運営委員会（8/30）でいただいたご意見を踏まえ、ガイドの名称・構成を以下のとおり変更し、第18回運営委員会ワーキンググループ（12/10）において、ガイドについて協議検討を行った。
- WG委員からいただいた主なご意見については、P3～P4に記載する。

ガイドの変更点

第18回WG(12/10)
での構成案
※赤字は今回の変更点

保険者支援力向上のためのガイド	
I. 保険者支援のチェックリスト※1	IV.へ移動
II. 解説編	
1. 準備編	
2. 事業企画編	
3. 事業実施編	
4. 事業評価編	
III. 支援パターン	
1. 支援保険者数が多い場合の支援ポイント	タイトル変更（小規模保険者への支援追加）
2. 大規模保険者への支援ポイント	II.3.5で記載
3. 国保組合への支援ポイント	
4. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の支援ポイント	
5. 糖尿病性腎症重症化予防の支援ポイント	III.6に集約
6. 企画時の目標設定、評価指標の設定の支援ポイント	III.6に集約
7. 事業評価の支援ポイント	

ガイドの名称・
構成変更

保険者支援のためのガイド	
I. 効果的な保険者支援を行うために （支援の目的・ 姿勢 ・基本的な考え方・関係者）	[P 7]
II. PDCAサイクルに沿った保険者支援のポイント	[P21]
1. 事前準備編	[P23]
2. 事業計画編	[P35]
3. 事業実施編	[P45]
4. 事業評価編	[P76]
III. 課題解決に向けた保険者支援の工夫 （パターン別の支援例）	[P85]
1. 支援保険者数が多い場合の支援	[P86]
2. 保険者規模を考慮した支援	[P88]
3. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の支援	[P90]
4. 糖尿病性腎症重症化予防の支援	[P92]
5. データヘルス計画の最終評価・改訂に向けた支援	[P94]
6. 保険者の事業評価の支援	[P97]
【報告会の事例紹介】支援・評価委員会の工夫例	[P100]
IV. 保険者支援の自己評価チェックリスト※1	[P111]

※1 チェックリストの変更点については、次ページ参照。

「保険者支援のためのガイド（案）」について②

ガイドの変更点

チェックリスト（P112～113）の変更点は以下のとおり。

第18回WG(12/10)
での変更案
※赤字は今回の変更点

変更前			変更後		本文
準備編 [25項目]	Q1. 保健事業の全体像や国保連合会・関係者の役割を確認するには？ Q2. 国や都道府県の動向を確認するには？ Q3. 保険者の状況を確認するには？ Q4. 関係者との連携体制を構築するには？		1 事前準備編 [9項目]	1.1 国保連合会の保険者支援の中・長期的な計画を確認しよう！ 1.2 国や都道府県の動向を確認しよう！ 1.3 都道府県内の保険者の状況を俯瞰しよう！ 1.4 関係機関との連携体制を構築しよう！	P23 P26 P30 P33
事業企画編 [15項目]	Q5. 保険者支援の全体目標を設定するには？ Q6. 事業計画を作成するには？ Q7. 支援保険者を募集するには？		2 事業計画編 [6項目]	2.1 当該年度の保険者支援の実施計画を立てよう！ 2.2 保険者別の支援計画を立てよう！ 2.3 個別保険者の支援計画を立てよう！	P35 P42
事業実施編 [51項目]	Q8. 支援保険者の課題を整理するには？ Q9. 支援保険者の個別支援計画を作成するには？ Q10. 支援カルテ（仮称）を活用していくには？ Q11. 支援・評価委員会を効果的に実施するには？ Q12. 研修会を効果的に実施するには？ Q13. 事務局支援を効果的に実施するには？ Q14. 事務局機能を強化するには？ Q15. 新型コロナウイルス感染症等の流行時に気を付けることは？ Q16. 申請のない保険者に対しての対応方法は？		3 事業実施編 [21項目]	3.1 保険者支援の実施準備をしよう！ 3.2 支援・評価委員会を効果的に開催しよう！ 3.3 研修会を効果的に実施しよう！ 3.4 ヘルスサポート事業以外の保険者の個別支援をしよう！ 3.5 国保組合を効果的に支援するには？ 3.6 広域連合を効果的に支援するには？	P45 P49 P57 P61 P68 P73
事業評価編 [23項目]	Q17. 国保連合会の保険者支援の事業評価を実施するには？ Q18. 支援結果を関係機関と共有するには？ Q19. 次期計画の見直しをするには？		4 事業評価編 [7項目]	4.1 保険者支援に関する事業の評価をしよう！ 4.2 保険者支援の実施計画の評価をしよう！ 4.3 評価結果を次期計画に活かそう！	P76 P81 P83
[114項目]			[43項目]		



第18回国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会ワーキング・グループ（12/10）での ガイドに対するご意見等を踏まえた対応について①

No.	主なご意見等		対応（案）	該当 ページ
1	保険者支援の考え方	・本ガイドは一定以上経験のある担当者向けで、特に事業に力を入れている保険者を中心にヒアリングを行い掲載しているということだが、まだ事業に本格的に取り組めていない国保連合会にとって、保険者支援の第一歩となるような視点について検討が必要ではないか。	I	P9
2		・保険者自身しかできないことに対する支援と、国保連合会がある程度関われる支援（KDBシステムに関する支援等）がある。 前者については保険者が自らつかんでいかなければいけない内容であり、後者については国保連合会が支援することで保険者の負担軽減等にもつながる。この両者の視点を踏まえた上で支援の濃淡を考えられると良い。		
3		・中長期計画の策定については、組織全体として考えることであるため、パートⅠなどの支援のスタンスに記載したほうが良いのではないか。パートⅡには担当者が考えることを中心に記載したほうが良い。	I	P15
4	保険者が求める支援	・取組事例調査等の中で、国保連合会だけでなく、保険者がどのような支援を求めているかを大規模・小規模保険者等でサンプリングでも良いので拾えると良い。 国保連合会が行いたい支援と、保険者が求める支援内容の差に着目できると、支援を行う際のヒントになると思う。	I	P19
5		・取組事例調査の中で、保険者が行えていないこと等、ガイドに盛り込まなかった内容についても分析が必要。その中から、国保中央会や国保連合会が気づいていない保険者の支援に対する潜在的なニーズを見つけることができるかもしれない。	－	－
6	2つのPDCAサイクル	・保険者支援のPDCAサイクルのイメージとしては、国保連合会としての全ての保険者が動くようにする、その中で個別の保険者がいる、という入れ子式の書き方ができるのでは。 ・Ⅰ 3の「(1)2つのPDCAサイクルの意識化」の図表1についてはシンプルな表現となっているため、担当者がもう少しイメージを持てるように、本文の中で具体的な説明があると良い。	I	P9 P10
7		・国保連合会における支援のPDCAサイクルは年度ごとにきれいにまとめがちだが、保険者にとってのPDCAサイクルの中では、どのタイミングで支援を受けて、次にどのように反映するか、ということは年度をまたがる。支援を受ける側のPDCAサイクルも2～3年で共有できるとよいのでは。	I	P17
8	ニーズと デマンド	・Ⅰ 3の「(2)保険者の課題・要望の把握とアセスメント」については、保険者にとって本当に支援すべき内容をつかむことが重要な点である。 そのために、保険者自身が潜在ニーズに気づくような支援が必要という点を表現できると良い。 ・潜在ニーズを把握するための作業に関する内容をガイドに記載できると良い。 KDBシステムの支援といっても、使い方が分からない保険者と、活用方法に悩んでいる保険者では提供すべきものは異なる。	I	P11

第18回国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会ワーキング・グループ（12/10）での ガイドに対するご意見等を踏まえた対応について②

No.	主なご意見等		対応（案）		該当 ページ
9	支援・評価委員会の役割	・本ガイドは国保連合会担当者向けであることを考えると、支援・評価委員会を適切に機能させるために、各先生方に対する期待や役割についても記載できると良い。（事例があれば記載できるとなお良い。）	I	2.2に支援・評価委員会の役割や国保連合会との関係等について記載。 また、岡山委員にコラムをご執筆いただく。 「支援・評価委員会と国保連合会職員へのメッセージ」	P13 P14
10	その他	・先日行われた日本健康会議では、保険者協議会との関係性や、保険者として具体的に何をすべきかという点について目標が出ているので、それらも盛り込めると良い。	I	「3.保険者支援の関係者」に保険者協議会を追加。	P18
11	中・長期的な計画の確認	・保険者支援における基本的な考え方や事前準備等については、事業が始まってから考えるのでは間に合わないので、時系列を考慮し、事業が始まる前に行うべきこと、始まった後に行うべきことを整理したほうが分かりやすい。	II	「1.1 国保連合会の保険者支援の中・長期的な計画を確認しよう！」を追加し、左記内容を記載。	P23
12	支援台帳（カルテ）	・支援台帳（支援カルテ）のまとめ方については、具体例を示した方が良い。 単年度の記録でなく、経年的な保険者支援のヒストリーを記録することが大切。 ・支援台帳（支援カルテ）を残す理由や、残すべき内容についても記載できると良い。 ・支援台帳（支援カルテ）は必ずしもきれいに残す必要はないと思う。支援時の議事録や議事要旨を共有することも大事。	II	3.1、3.2の以下のチェック項目に左記内容を記載。 ・チェック項目(16)「進捗管理を行うため、保険者ごとに支援カルテを作成する。」 ・チェック項目(22)「助言内容を記録に残し、保険者にフィードバックする。」	P45 P52
13	小規模保険者への支援	・特に小規模保険者など担当者が少ない保険者や、人事異動があった場合等は、これまでの支援状況を共有できるような工夫についても記載できると良い。	III	「2.保険者規模を考慮した支援」の小規模保険者の支援ポイント等に左記内容を記載。	P88
14	その他	・中長期的な計画策定や支援・評価委員会の立て方等がうまくいっている事例をⅢ章に記載出来ると、今のガイドの構成を大きく崩さずに本日の議論をうまく説明できるのではないか。	III	「【報告会の事例紹介】支援・評価委員会の工夫例」を追加。	P100

令和3年度「国保連合会保健事業支援・評価委員会」報告会でのガイドに対する ご意見等を踏まえた対応について

No.	主なご意見等		対応（案）		該当 ページ
1	長期計画 の必要性	・支援保険者・構成市町村が増えたからこそ、長期計画が必要になってくる。	I	2.3(1)に「中・長期計画の策定の必要性」を追加。	P15
2	研修会の 活用	・共通課題やPDCAの説明、保健事業の評価の基本的な知識については、研修で情報提供するのが良い。	II	P39の助言者のコメントやチェック項目(27)に左記の内容を追加。	P39 P58
3	委員構成 の工夫	支援・評価委員会の委員を構成するにあたり、以下の工夫をしている。 ・委員に県庁の事務職員に入ってもらって行政手続きの支援ができてよい。市町村保険者の代表者に入ってもらって市町村の支援ニーズをより適切に把握できる場合もある。 ・健診受診率が頭打ちの状況下で支援を希望する保険者が多かったため、マーケティング分野の先生に入っていた。先生からは斬新な意見を数多くいただいている。	II	チェック項目(12)のポイントに左記の工夫例を記載。	P36
4	評価指標 の明確化	・市町村が支援を受けてもPDCA（特に評価）をうまく回せないため、好事例があれば紹介してほしい。計画段階で評価指標が明確だと評価がしやすいと感じる。	II	チェック項目(13)に個別の保健事業計画や保険者支援の実施計画に関する評価計画における評価指標例を記載。	P40
5	支援カルテ の必要性	・各保険者のキーパーソンや体制の特徴、支援時の反応などメモを残しておくことが大切。	II	チェック項目(16)の「支援カルテを作成する際のポイント」に経年的に支援記録を残すことによるメリットを記載。	P46
6	委員同士 のコミュニ ケーション	・委員同士が情報交換・共有できる仕組みがあるとよい。	II	チェック項目(19)に委員同士がそれぞれの意見を出し合えるような会議の場を設けることも重要であることを記載。	P49
7	助言集の 活用	・過去の助言内容を整理し、助言集として支援・評価委員会や保険者に配布している。	II	チェック項目(23)に東京都国保連合会や静岡県国保連合会の事例を追加。	P54 P55
8	支援保険 者数が多い場合の 支援	支援・評価委員会における小グループを活用した支援例として、以下の事例が参考になる。 ・委員を専門分野毎に作業班（小委員会）に分けた支援（福岡県国保連合会） ・地域毎にグループ化した支援（三重県国保連合会）	III	左記の事例を追加。	P87
9	KDB帳票 の活用事 例	データヘルス計画の中間評価におけるKDB帳票の活用例として、以下の事例が参考になる。 ・KDBシステムを活用したデータヘルス計画の経年評価（和歌山県国保連合会）	III	左記の事例を追加。	P95
10	データヘル ス計画の 標準化	・各種事業の目標値の提示等、データヘルス計画の標準化に向けた方針をガイドに記載してほしい。	III	尾島委員にコラムをご執筆いただく。 「データヘルス計画の標準化に関する取り組み」	P96

「保険者支援のためのガイド（案）」作成について（論点）

No.	論 点
1	<p>第18回ワーキング・グループ等で頂いたご意見をもとに、ガイドを以下のとおり見直したが、この構成・内容でよいか。</p> <ul style="list-style-type: none">I .効果的な保険者支援を行うために（P7～P20）II .PDCAサイクルに沿った保険者支援のポイント（P21～P84）III .課題解決に向けた保険者支援の工夫（パターン別の支援例）（P85～P110）IV .保険者支援の自己評価チェックリスト（P111～P113）
2	<p>II の事業計画編と事業評価編において、 保険者支援に関する評価計画と事業評価についての記載をしているが、この構成でよいか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 評価計画（チェック項目（13） P40～P41参照）・ 事業評価（チェック項目（37）～（40） P76～P80参照） <p>また、上記に記載した評価項目、評価指標について、修正・追加等はないか。</p>
3	<p>その他、II のチェック項目に記載した内容について、修正・追加等はないか。</p> <p>例：チェック項目（16） 「支援カルテを作成する。」（P45～P46） チェック項目（17） 「ヒアリングシートを活用する。」（P47）</p>

「保険者支援力向上のためのガイド（案）」作成について

作成の目的

これまでの国保連合会の保健事業における保険者支援の現状と課題を踏まえた上で、更なる保険者支援の充実を図るために、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業を基軸とした**実際の支援事例等を参考に、効果的な支援手法やノウハウ等を整理し実務に役立つガイドを作成**する。

基本的な考え方

- ① 主には、ヘルスサポート事業における連合会事務局の役割の明確化や支援目標の設定、取組の工夫等により、更に保険者支援のスキルアップが図られるよう、効果的かつ効率的な取組みのポイントなどを中心に、簡潔でわかりやすく伝える構成や内容とする。
- ② 取組みのポイントをチェックリスト形式で自らチェックできるようにして、担当職員が課題に感じている事項からガイドを活用できるようにする。
- ③ 詳細な内容等は、ワーキンググループ等で作成した既存のマニュアルやガイドライン等に紐づけて示すことにより、活用を図る。
- ④ ガイドを関係機関と共有することにより、協働して保険者への支援にあたることができるようにする。
- ⑤ 当面は、課題に対応した支援のパターンを示し、活用を通じた検証を行いつつ、ガイドの内容をブラッシュアップする。

ガイドの活用者

国保連合会の保健事業担当者

また、情報共有先として以下を想定。

保健事業支援・評価委員会委員、都道府県、後期高齢者医療広域連合等の保険者支援に関わる関係機関

ガイドの構成（案）

ガイドの内容として、以下のもので構成する。

- I 保険者支援のチェックリスト
ヘルスサポート事業における保険者支援の実施事項について、チェックリスト形式で支援のプロセスを提示。
- II 解説編
保険者支援におけるポイントや留意点について、Q&A形式で記載するとともに、参考となる連合会等の事例を提示。
- III 支援パターン
国保連合会等が抱える課題解決に向け、支援の参考となるパターン別の内容をまとめて提示。

国保・後期高齢者ヘルスサポート事業における課題への対応と今後の方向性（案）

項目	論点と対応（案）	今後の方向性（案）
①今後のヘルスサポート事業において推進すべき支援について	<p>（論点）今後のヘルスサポート事業において推進すべき支援は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データヘルス事業の一層の推進と一体的実施への支援の強化 ○申請に加えて、全保険者（国保保険者、後期高齢者医療広域連合及び構成市町村）を対象とした支援の実施。支援目標の設定。 	<p>【当面（R3年度）の対応】</p> <p>「保険者支援力向上のためのガイド」の作成 ※ 参考資料4-2参照</p> <p>①運営委員会・国保中央会、支援・評価委員会・国保連合会の役割分担の具体化 ②支援モデルの提示 ③支援の評価とその考え方、指標の提示 ④都道府県等との連携協力・役割分担の具体化</p>
②保険者への支援策の拡充について	<p>（論点）支援を拡充するためにはどのような方法が効果的か</p> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的・効率的な支援モデルの検討、提示 <ul style="list-style-type: none"> ・保険者支援の好事例把握・分析等から、効果的・効率的な支援方法の検討、横展開（KDBシステム活用含む） ・運営委員会・中央会、支援・評価委員会、連合会の役割分担の具体化 ・支援の効果を確保するための共通指標の検討、支援事業のPDCAを回す ○保険者の人材育成、体制整備（庁内連携・異動等含む）への支援の拡充 	<p>↓</p> <p>＜今後の方向性＞</p> <p>国保連合会・中央会のめざす方向 2018</p> <p>「審査支払業務の専門家集団」としての役割に加えて、「地方自治体が行う医療・保健・介護・福祉業務を支援する専門家集団」としての位置づけを明確化する。 (「国保連合会・国保中央会のめざす方向2018」より)</p>
③支援・評価委員会の負担増への対応について	<p>（論点）保険者支援の負担を軽減するために見直すべきことは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保険者支援の手順や方法の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧なヒアリングを行うなど、実態調査の方法の検討 ・提出書類や手順等の見直し ・中央会における実態把握の内容・方法の見直し ○国の動きを支援・評価委員と共有し、保険者支援の方向性を共有 	
④他機関（都道府県、保健所、広域連合、医療機関等）との連携について	<p>（論点）他機関との連携を進めるためにはどのような方法が効果的か</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都道府県（保健所）や広域連合との役割の調整や連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・保険者間の格差解消のため、保健所と連携したきめ細かい支援の実施 ○医療機関との調整や連携の推進 ○第三者機関との調整や連携協力の整理 	<p>↓</p> <p>国保連合会・中央会のめざす方向 2021?</p> <p>データヘルス改革に対応した保健事業に関する新たな枠組みの検討</p>